

雨天時の
ブレーキ
は？



知っていますか？ スタッドレス タイヤの弱点。

雪道では高い性能を発揮するスタッドレスタイヤ。しかし、あくまでも雪道用のタイヤなので、雪のない道を通常のノーマルタイヤと同じように走ってしまうのは危険だ。ブレーキ性能と旋回性能の違いをノーマルタイヤと比較した。

カーブ
では？



スタッドレスタイヤを装着して半径20mの円に沿って走行。時速50kmではタイヤが滑り、外側にふくらんだ。

2 カーブでのグリップは？

カーブでのグリップ力の違いをテストした。下図のように時速50kmで半径20mの円に進入し、パイロンに沿って曲がれるかを確認。路面はドライとウエット。カーブ走行時の安定性など、ドライバーの印象もチェックした。



ウエット



ノーマルタイヤ

ドライ



ノーマルタイヤ

ウエット



スタッドレスタイヤ

ドライ



スタッドレスタイヤ

ウエットでは、ノーマルタイヤでも走行ラインがふくらみ、パイロンから離れた。スタッドレスタイヤは、ハンドルの切り始めからタイヤが滑り出し、パイロンにまったく近づけなかった。

ドライでは、ノーマルタイヤは円に沿って走れたが、スタッドレスタイヤではタイヤが滑ってパイロンから離れた。ノーマルタイヤと比べると、車幅と同じくらい走行ラインがふくらんだ。

1 ブレーキの利きは？

時速60kmからの制動距離を乾燥路（ドライ）と濡れた路面（ウエット）で比較した。ドライはJAFの安全運転講習会で講師を務めるインストラクター。一般道での急ブレーキを想定し、時速60kmからフルブレーキを行い、止まるまでの距離を計測した（ABS作動）。上記の結果は、3回計測した際の平均値。



路面状況	タイヤ種類	制動距離 (m)
ウエット	スタッドレスタイヤ	26.9
	ノーマルタイヤ	17.6
ドライ	スタッドレスタイヤ	19.9
	ノーマルタイヤ	16.8

テストで使用したスタッドレスタイヤ（左）とノーマルタイヤ。

テスト結果

雪がない道では、スタッドレスタイヤはノーマルタイヤに比べて性能が劣った。

タイヤを交換した際は速度を抑えて慎重に！



JAF栃木支部インストラクター 田村 鋭夫

スタッドレスタイヤは毎年改良され、雪道以外での性能も上がっていますが、やはりノーマルタイヤと同じではありません。今回のテストでも、カーブ進入時のグリップの弱さが明確で、ウエットではハンドルを切っても前輪が滑って曲がれませんでした。一般道なら、対向車線にはみ出していたところ。これからスタッドレスタイヤに交換する人も多いと思いますが、交換直後はノーマルタイヤの感覚が残っているので注意が必要です。「曲がれたはず」ということがないように、速度を抑えて早めにブレーキなどの操作をするようにしましょう。



● GPS車速計

今回はGPS車速計を使って制動距離を計測した。GPS衛星から位置情報を取るため、タイヤの滑りによる誤差がなく、より正確な測定ができる。走行ラインの表示も可能で、カーブでのテスト結果でも参考にした。

濡れた路面での制動距離は5割増し！

雪の多い地域に住む人の中には、そろそろノーマルタイヤからスタッドレスタイヤに交換しようと思っっている人は多いだろう。

その際注意したいのが、スタッドレスタイヤに交換した際の走り方。スタッドレスタイヤは雪や氷の上でもグリップ力（摩擦係数）を発揮するため、低温でも硬くならないコンパウンド（配合ゴム）を使い、接地面のブロックには細かい溝（サイフ）を多く入れている。それによって雪道でも安定して走れるのだが、雪道以外ではそれが弱点となり、ノーマルタイヤと比べると、ブレーキ性能や旋回性能が劣ると言われている。

そこで今回は、ノーマルタイヤとスタッドレスタイヤの差が、実際にどの程度あるのかをテストした。

テストでは、同一メーカーの新製品のノーマルタイヤとスタッドレスタイヤを用意。まず、時速60kmでの制動距離を計測した。上の写真が時速60kmからの制動距離を比較したもので、乾燥路（ドライ）も濡れた路面（ウエット）も、ノーマルタイヤに比べてスタッドレスタイヤのほうが制動距離は長くなった。特にウエットでの制動距離は、ノーマルタイヤと比べて約1.5倍も長く、9.3mも延びた。ちなみに、9.3mは車2台分ほどの長さ。そのぶん手前からブレーキを踏まないで、ノーマルタイヤと同じ位置には止まれないのである。

カーブでのグリップ力については、時速50kmで半径20mの円に進入して、円に沿って走れるかを調べた。結果は左ページのとおりで、こちらもノーマルタイヤに比べてスタッドレスタイヤの性能が劣る結果になった。制動距離と同様、ウエットでの性能低下が大きく、時速50kmではカーブを曲がりきれず、走行ラインは大きくふくらんだ。ドライでも車幅分かれの外側にふくらみ、片側1車線ほどの道路だったら、対向車線にはみ出したり、路外へ逸脱する事故につながる結果となった。

今回のテストから、雪のない路面では、スタッドレスタイヤはノーマルタイヤに比べて性能が劣ることが分かった。そのぶん速度を抑えたり、早めにブレーキを踏むような運転を心がける必要があるだろう。

これらはJAFユーザーテストの結果です。結果は条件によって変わることがあります。